

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分																		
後期	3学年	1単位	看護師課程選択必修																		
担当教員																					
◎小長谷百絵、山田恵子、関睦美、東條紀子、石岡幸恵																					
添付ファイル																					
授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【研究室】</td> <td>【メールアドレス】</td> </tr> <tr> <td>◎小長谷 百絵</td> <td>213研究室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山田 恵子</td> <td>215研究室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関 睦美</td> <td>301研究室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東條 紀子</td> <td>308研究室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石岡 幸恵</td> <td>共同研究室3</td> <td></td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】 【DP 6】 【DP 7】 ○ ◎ ○ ○ ○</p>			【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】	◎小長谷 百絵	213研究室		山田 恵子	215研究室		関 睦美	301研究室		東條 紀子	308研究室		石岡 幸恵	共同研究室3	
【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】																			
◎小長谷 百絵	213研究室																				
山田 恵子	215研究室																				
関 睦美	301研究室																				
東條 紀子	308研究室																				
石岡 幸恵	共同研究室3																				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者・家族支援を重視した医療と生活を統合したエンドオブライフケアの概念を説明できる。</li> <li>2. エンドオブライフを生きる人の病の苦痛や苦悩、生活背景に根差した生きる価値や希望、他者との関係性などの理解を深め必要な個別ケアについて述べるができる。</li> <li>3. エンドオブライフを生きる人を取り巻く家族や社会の包括的なシステムの中で患者にとっての最善を尽くすアプローチを説明できる。</li> <li>4. エンドオブライフケアの事例から自身の死生観を意識化しいのちについて述べるができる。</li> <li>5. エンドオブライフに向き合う患者に関わる自己の態度の醸成に向けエンドオブライフケアに対する考えを表現できる。</li> </ol>																				
授業概要	<p>エンドオブライフケアの概念理解と小児・成人・老年期と発達段階に応じたエンドオブライフケアについて、その実践に関する知識・技術について学ぶ。また、自己の死生観を見つめなおし、自らの考えを意識化することや、対象者の多様な生き方や選択を支援する方法について検討する。</p>																				
授業計画	<p>1-2 エンドオブライフケアとは、高齢者におけるエンドオブライフケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人が生きるとは、死ぬとは</li> <li>2. 死を取り巻く社会状況</li> <li>3. 看取りの場の広がり</li> <li>4. 終末期のプロセス</li> <li>5. 意思決定の支援</li> <li>6. 臨死期に求められる援助</li> </ol> <p>備考：小長谷 東條、2/4（火）Ⅲ・Ⅳ</p> <p>3-4 子どもと家族がよりよく生きるためのエンドオブライフケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エンドオブライフケアの対象となる子どもと家族の特徴</li> <li>2. 子どものエンドオブライフケアの構成要素</li> <li>3. 子どもの最善の利益を考えた他職種チームアプローチとグリーフケア</li> </ol> <p>備考：山田（恵）、2/7（金）Ⅲ・Ⅳ</p> <p>5-6 病とともに生きる人のエンドオブライフケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全人的苦痛を持つ患者家族の看護</li> <li>2. 終末期における患者家族の特徴と看護援助</li> <li>3. アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割</li> </ol> <p>備考：石岡、2/12（水）Ⅲ・Ⅳ</p> <p>7-8 地域で暮らす療養者と家族へのエンドオブライフケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅での看取りと、家族への支援</li> <li>2. 在宅ケアチームにおける他職種連携</li> <li>3. ケアマネジメント、看護支援計画の検討</li> </ol> <p>備考：関、2/14（金）Ⅲ・Ⅳ</p>																				
事前・事後学習	<p>事前学習：各回の学習内容に該当する参考図書を読んでおく。アドバンス・ケア・プランニングについて、既習の内容を振り返っておく。</p> <p>事後学習：授業内容で理解不十分や納得できない部分がなかったか資料等をみて復習する。</p>																				
評価方法、評価基準	<p>レポート(80%)、出席態度(20%)</p> <p>単元ごとの評価は各担当教員が行い、科目責任者が総合評価を行う。</p>																				

	具体的な評価方法については、講義時に各担当教員が提示する。
必携図書	資料等は、必要時配布する。
参考図書・資料等	谷本真理子, 増島麻里子, エンドオブライフケアその人にとっての最善をめざして, 南江堂 長江弘子, 看護実践に活かすエンド・オブ・ライフケア, 日本看護協会出版会
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻は欠席となる。2/3以上（6コマ以上）の出席がない場合は、評価の対象としない。
教員からのメッセージ	皆さんと「生きる」を支えるについて考えていきましょう。
オフィスアワー	